

①首都圏における堺の魅力発信事業 ②谷町六丁目活性化組織「からほりらへん」との事業協力 ③放置竹林対策活動への参加

#シティプロモーション活動
#商店街外部組織
#放置竹林問題



瀬戸内フェア2023

DATA

● 主な連携先・メンバー

- ①堺市東京事務所（東京都千代田区）／株式会社梅栄堂
- ②からほりらへん（谷町六丁目 空堀商店街エリアで活動する地域活性化組織）
- ③藪の傍（NPO 組織）

● 活動地域

- ①東京都練馬区光が丘 IMA／大阪府堺市泉北ニュータウン
- ②大阪府大阪市中央区谷町六丁目 空堀商店街エリア
- ③京都府向日市

● 活動期間

2023 年度

● 活動資金

- ①堺市と関西大学との地域連携事業補助金
- ②なし
- ③なし

目的

基本的には、ゼミナールにおけるグループ研究との関連の中で連携等を進めている。各連携活動を通して、ゼミでの研究活動に実践面での検証や地域への貢献ができるように進めている。

活動内容

- ①堺市との地域連携事業では、東京都練馬区での UR へのヒアリング調査、同ショッピングセンターにおける堺市事業者の線香とお香の販売、堺市の泉北ニュータウンでのフィールドワークを実施した。



泉北ニュータウンでの
フィールドワーク

- ②「からほりらへん」への事業協力では、エリアマップの広報、広報動画の作成、マイドームおおさかで開催された「OSAKA 手づくりフェア 2023」への協力参加を実施した。
- ③放置竹林問題への対応として、竹林での伐採活動へ参加し、その後、竹を使った国産メンマ販売の可能性を追求した。

放置竹林対策活動に参加



活動の成果

- ①「瀬戸内フェア 2023」において、堺市事業者の線香とお香を販売し、予想を上回る販売実績につながり、堺市の魅力を首都圏で発信することができた。
- ②作成した SNS 動画のアクセス数は予定を上回り、広報活動に尽力できた。また、この取組みの成果は「アグコン 2023」で研究発表し、実践活動研究部門で審査員特別賞の表彰を受けた。
- ③「KANDAI × HOSEI SDGsWeeks2023」において、「SDGs アクションプランコンテスト 2023」の本審査で活動内容やその後のプランを発表した。



からほりらへん

今後の課題・目標・展開の可能性

- 地域商業（商店街やニュータウン内の商業施設等）の現状把握と活性化に対する研究および取組み。
- 地域商業組織の現状や今後の方向性に対する研究。

連携先からの一言

首都圏で堺市を PR するため、商材選定、事業者選定・交渉、イベント企画運営など、プロモーションにかかる全てを一気通貫で担っていただき、日ごろの学びを実践する場を提供できたと考えています。堺市東京事務所としては、学生が持つトレンド感覚などから「線香・お香」を選定し工夫して販売いただいたことで予想を上回る売り上げとなり、効果的なシティプロモーションが実施できました。今回の取組みで得られたことを今後のシティプロモーションに活かしていこうと思います。（堺市東京事務所）

経済学部 教授 佐々木 保幸 Sasaki Yasuyuki



日本とフランスの流通政策研究を専門としている。最近は商業（ボランティアチェーン）と協同組合の特質を併せ持ったフランス独自の商業の発展についても研究を進めている。

